



企画展「いのちをいただく」紙芝居展

2016年(平成28年)1月13日(水)～3月27日(日)

紙芝居「いのちをいただく」 朗読会を開催しました



1月24日(日)、紙芝居「いのちをいただく」ほかの朗読会を開催しました。

朗読者の堀家美智子さん(種蒔き人の会)は、「食べているのは生きものだ」の本では、世界の国々の中には、大事な客があるときなど、肉をお店に買いに行くのではなく、自ら家畜を殺して提供する国があることや、さまざまな生きものを食べていることなど、紹介されました。

日本では、古くから血に対する「不浄感」があり、生きもの(家畜)を殺すという行為に、残酷な仕事という偏見を抱くようです。

でも、私たちは、生きものの「いのち」をいただいて生き続けているのです。

講演会「いのちと仕事」を開催します！

入場無料

「いのちをいただく」の原案者

坂本義喜さん(熊本市)は、食肉センターで働いてきました。最初は、数百キロもある「牛」は、どう猛な存在にしか思えず、仕事を早く終えたいとばかり考えていました。

でも、「牛のみいちゃん」に出会い、こんなに大人しくて利口な牛がいることを初めて知り、かわいいと感じました。そして、自分の仕事の意味が初めてわかったのです。

と き：2月21日(日)
13時30分から
ところ：人権平和資料館2F

